

# 多高通信

第159号 平成30年10月26日発行



さとく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 白熱！ 体育祭！

■体育祭実行委員長 武田 優菜

(3年2組 八乙女中出身)

体育祭は、多賀城高校の三大行事の一つであり、実行委員長として責任をもって活動しました。体育祭は他の行事と比べて実行委員の協力体制がとても重要であると実感しました。前日までの準備はもちろん、当日の競技の準備や進行、点数の集計などを実行委員で行い、時間的にも人数的にも厳しいものがありました。しかし、自分の担当外のことでも手伝ったり、ミスを埋めあつたりするなど、実行委員一丸となって乗り越えることができました。すべてがうまく行った訳ではないですが、何とか無事に終わることができたと思います。また、先生方や運動部の皆さんなど、多くの方々の支えがあつたからこそ成功だったのだと実感しました。自分たちで一つのことを成し遂げることは大変でしたが、その先にある大きな達成感を感じることができ、実り多い体育祭となりました。



## 北海道胆振東部地震 被災した学校へ

### 義援金を届けてきました

9月21日から24日にかけて、本校災害科学科3年生の石川智也君と船木武郎君が北海道へ渡り、北海道室蘭栄高等学校・北海道厚真高等学校の二校を訪問しました。

9月6日の地震直後から本校では募金活動を行



山崩れの現場を視察しました

い、そこで集まった義援金を両校に直接手渡ししてきました。また、今回の地震で大きな被害を受けた札幌市内・厚真町・むかわ町の被災現場も視察し、液状化の厳しい現実とともに、厚真町の被災地における火山灰土がもたらした崩落現場をドローンで空撮し、自然災害の猛威を学びました。

■石川 智也(3年7組 西山中出身)

災害科学科代表として、これまでもいくつかの災害の現場を訪れたことがあります。今回の地震の被災地を見てこれまでと異なる点は、被害の状況が非常に局地的であるということです。今回の訪問で北海道のいくつかの場所を訪れましたが、厚真町の被害が特に甚大で、目の前の光景に圧倒されてしまいました。土砂崩れ以外にも、液状化現象における地盤沈下などの被害もあり、被害がとても深刻なのですが、その被害は一部地域でのみでした。しかし、被害地域の狭さゆえに報道が軽視されていると言わざるを得ないと思います。

現地に行つて被害状況を視察することができた私たちが、今回の経験をこれからの防災・減災に活かすための伝承を行っていききたいと思っています。

## ニッポンだからものプロジェクト 取材活動

10月6日、東北歴史博物館や史跡を巡りながら、「ニッポン」たからものプロジェクト多賀城公演 文化プログラムプレスセンター取材会が開催され、放送部の新井田菜那さんと代祐稀さんが参加しました。



演者の皆さんと記念撮影

取材会では、平成28年度に設定された宮城の日本遺産(伊達)政宗が育んだ「伊達」な文化」をテーマにした伝統芸能を中心としたライブ「ニッポンたからものプロジェクト」を鑑賞。公演後、出演者の方々に取材をしました。

公演は、伝統的な文化を土台に海外の文化や桃山文化を取り入れた新たな文化「伊達な文化」を表現。雅楽の演奏、鹿(しし)踊り日本舞踊など、どれも魅力に溢れていました。

■新井田菜那(2年4組 しらかし台中出身)



取材の様子

このプロジェクトに参加して一番良かったのは、インタビューすることの楽しさを再確認することができたことです。放送部では普段からインタビューすることがよくあります。部活動でのインタビューは無論楽しいのですが、「部活動のひとつ」という感じもありました。しかし、今回のプロジェクトには自分の意志で参加したので、「部活動」という枠に囚われず、自由に人の話を聞く楽しさを味わうことができました。そして、このインタビューをこれから「新聞」として発信することで、「伊達の文化」をより多くの人に知っていただく機会になればと思います。

## 山岳部男子 新人大会優勝！

■メンバーの感想

○今回の大会は悪天候のため日程が短くなってしまいましたが、内容としては有意義なものとなりました。1日目の行動が体力的にきつかったので、次の大会までしっかりと基礎体力をつけておきたいと思っています。



また、医療分野のテストをしつかり深め、筆記試験でも高得点を狙っていきます。

○夏のインターハイの経験から、山行中の定点チェックの重要さを頭に入れながら新人大会に挑みましたが、定点のアルファベットをふり間違えるという初歩的なミスをしてしまいとても悔やしい思いをしました。多賀城は4チームあるので、互いに切磋琢磨し、他チームに負けないようにしていきたいです。

## 元サッカー日本代表

### 平山相太さん来校！

■山口 修平(3年1組 高崎中出身)

選手権まで1週間を切った10月15日、元日本代表である平山相太さんに指導をしていただきました。自分たちの課題でもある攻撃面を中心に練習を行い、シュートへのトラップや、打つときの足の振り方など細かいところを教わりました。最初のうちはシュートを打てる位置にトラップを置くという意識は少なかったのですが、練

習が終わる頃には、どうしたらシュートまで時間をかけず打てるかということろを全員が考えるようになり、練習自体の質も変わっていききました。最後のコーナーキックの練習では平山さんと競り合い、自分より頭一つ分高い打点からのヘディングを体感し、「本物」を感じる事ができました。練習後は集まった多高生に講話をしていただき、平山さん自身の高校時代のお話など、様々なことを聞くことができました。とても貴重な経験となりました。



## 公開授業・ESD講演会！

10月19日、本校において公開授業研究会を開催しました。県内外からたくさんの方々に御来校いただき、大変実りある研修会となりました。また、



音楽の授業の様子



宮教大・市瀬先生の講演会

当日は宮城教育大学より、市瀬智紀教授をお招きし、持続可能な社会の創り手を育む「ホールスクールアプローチ」によるESD/SDGsの推進というタイトルの講演をいただきました。平成28年度よりユネスコスクールに加盟した本校として、改めてESDの必要性や有用性を学ぶことができ、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。御来校いただいた皆様、市瀬先生、どうもありがとうございました。